

桜咲く	夜月が照らす	一つの木	兵庫県	宮崎	翔世
桜散り	五月終われば	梅雨入りか	兵庫県	宮崎	美侑
枯草に	色がついた	新緑や	兵庫県	八尾	采香
見上げれば	入道の雲	果てしなく	兵庫県	山口	優衣
夏の雨	額に当たると	やや涼し	兵庫県	山口	力輝弥
雪がとけ	春のおとずれ	桜咲く	兵庫県	山下	陽暉
気がつけば	桜が散って	全緑	兵庫県	山根	紗久
桜散る	出会いと別れに	涙する	兵庫県	山本	紗羅
明日から	中間考査	はよ終われ	兵庫県	横田	梨香
春風や	おまえがつくる	吹きだまり	東京都	毛塚	文憲
頬張りて	月見バーガー	平和かな	北海道	夢中飛行士	
風薫若葉の香に	薄茶一服		兵庫県	安井	幸子
次々に連なり	続くツツジ咲き		兵庫県	一岡	和枝
山桜そんなところ	におったのか		兵庫県	一步	
初霜や	兄に筆箱	贈りけり	兵庫県	山本	有珠
近道を	試しし帰路に	秋時雨	兵庫県	柴垣	彩芭
花霞学校へ	行き靴しまう		兵庫県	清水	徳子
新雪に	カメラ見つめし	シマエナガ	兵庫県	西本	真望
水しぶき	車道を翔ける	梅雨の月	兵庫県	前田	彩音
ゆく秋を	ゆっくり歩け	夕の帰路	兵庫県	藤原	青那
つくしの子	こうべを出して	春知らず	兵庫県	オトモリよう	

初孫の重き動画のスマホかな	兵庫	中井	啓之
ロずさむ「ふるさと」の唄春深し	兵庫	神田	剛
背を追って 青葉キラキラ ペダル踏む	兵庫	クウのママ	
荒畑に 星屑散らす イヌフグリ	新潟	大淵	航
炎天に庭師の友もおなじ喜寿	福岡	國貞	雅嗣
里帰り いとこと行った 夏祭り	兵庫	石川	芽依
最近の 気温の変化 繁忙期	兵庫	泉	龍之介
夕焼けに 鳥のさえずり 夏の夜	兵庫	上野山	朔太郎
くもり空 田んぼの中に ガマの声	兵庫	大谷	幸輝
雨降りて 靴の重さに 涙ぽろ	兵庫	岡本	樹
迫り来る 夏に備えて アルバイト	兵庫	片山	心暉
3年の 夏休みでは 休み無し	兵庫	白澤	知佳
空に向け 背比べをする 向日葵よ	兵庫	新治	ひかる
雨振り 肌寒い夜 夏遠い	兵庫	杉原	陽華
青春は たった一度の 思い出だ	兵庫	田中	陸門
蝉時雨 力説するは 暑さかな	兵庫	徳永	天音
夏の夜 君の瞳に 花が咲く	兵庫	那須	琴子
花火より 輝く君へ 恋心	兵庫	鍋川	恵
したたれる波紋広がる梅雨の雨	兵庫	成清	美雪
梅雨の時期 動きすぎだぞ 髪の毛よ	兵庫	西川	愛莉
雨多き梅雨の時期に踏み入れる	兵庫	花本	在
紅葉に劣らず見える青楓	兵庫	日垣	空翔
僕たちの 隣にいるよ サンタさん	兵庫	福田	優衣
日永かな あなたの顔が よく見える	兵庫	堀上	真衣
もう五月 あっという間に 過ぎる日々	兵庫	松本	美桜
友人は 思い出と同じ 春時雨	兵庫	水野	史菜
あの時の ドキドキワクワク サンタサン	兵庫	南山	凜奈

今日生きてこのひと時を花見舟
すかんぽを花瓶に挿して夕餉とる
万緑に夫を預け帰りゆく
鯉跳ねる春昼近松像の下
祭終え背割桜ののびのびと
灼熱の地に中村哲の結びし口
故郷や春は根開き雪解水
梅雨時にうんざり気分部屋こもる
出合いたい 桜散る日に逝った老犬
心ひらき薔薇風に乗る 園児たち
うしがえる天下安寧の祝詞かな
鍛冶音も師からのエール 青葉風
北国は雪根開きで春を知り
空知らぬ 雨や落ちたる沙羅の花
掘られゐる筍不発弾のごと
着ぶくれて無事故を願い旗を振る
ザリガニの脱皮観てゐる日永かな
菜園で実り願いて畑打を
かすむ目に花は変わらず美しい
城址に思い出包む美の館
新緑の丘少年は夢抱く
五七五とフォトや逢ひ見る写俳亭
鈴遠く聞いて一人の遍路道
木々の枝梳かし軽やか若葉風
伝統が醸す辛口今年酒
鳥帰る落暉綻ぶ目見零る
落花 夙川 亡き三樹彦の背を追う

兵庫県	佐野	延子
兵庫県	金丸	英子
埼玉県	垣渕	みずほ
兵庫県	渡辺	善子
京都府	佐々木	和美
兵庫県	北野	暁子
北海道	鎌田	あい子
岐阜県	渡辺	章良
兵庫県	森永	美耶子
兵庫県	坂本	久刀
兵庫県	常深	克己
兵庫県	塚越	斐子
北海道	鎌田	誠
兵庫県	阿々留	紅令
兵庫県	安原	正久
滋賀県	野口	成人
熊本県	貝田	ひでを
愛知県	長坂	福夫
大阪府	秀爺	
兵庫県	長尾	義純
兵庫県	瓜生	八頼子
高知県	野中	泰風
兵庫県	亀山	逸子
兵庫県	藤原	勢津子
東京都	石川	昇
熊本県	田上	智佳士
兵庫県	岡崎	淳子

春の夜に荒唐無稽夢うつつ	兵庫	常下	英子
古希すぎて春のときめきあるやなし	兵庫	田中	智子
飛び込みや聴覚触覚ピンと張る	岐阜	あらい	ゆう
朧夜や思いそれぞれ老い二人	兵庫	中井	清子
ひと口で悲喜こもごもの桜餅	兵庫	無我	
銃声の絶えぬ地球にも草青む	兵庫	稲美	和美
生家去り 三木に嫁ぎて 初夏の庭	兵庫	住野	慶子
彼氏とは言えず 寡婦ふり返る蜜柑山	千葉	政成	一行
夕映えに飛行機きらら星きらり	兵庫	中嶋	すみ子
桜吹雪 親友の葬列 蘇る	兵庫	浜崎	まさ
むらさきのくちびるふるえプールびらき	兵庫	井の中の	カワズ
たんぽぽのわたを食べてとおままごと	兵庫	鈴木	稔子
愛されていたことにふと気づく春	佐賀	古賀	由美子
君はそんな人 言葉無き春愁	大分	吉田	紫紅
一陣の 風に吹かれて 花吹雪	兵庫	白河	まどか
仏恋 師恋 花信咲くとき散るときも	兵庫	米崎	璃津子
出湯の香や触れる地球の息吹なり	東京	田中	正博
空青き白鷺城や春隣	兵庫	原田	笠松
暖取りの オモチのような 三毛猫だ	京都	北谷	匠
穏やかなつひの栖や三木は初夏	兵庫	坂東	良枝
葱坊主捨てられていて眠たそう	兵庫	中西	育子
沖縄忌知らざる我はやまとんちゅう	岐阜	能登	航
能登の市 凍てつく瓦礫 胸痛み	兵庫	高田	葉声
わき川に 菖蒲撫でるる 念仏水	兵庫	高田	幸月
晴れ桜 ドローンに吠えて 犬駆ける	兵庫	高田	古樹
褒めことばいいね！以外が欲しい春	埼玉	大野	美波
師を恋えばしきりに落ちる沙羅の花	大阪	富澤	秀雄

短夜や親は脇役子は主役
鯉のぼりすがしき腸は風の色
母の忌や海とラヂオと花海桐
調律の音に散り敷くえごの花
裸婦像の髪なびかせて青嵐
快気の旅 藤棚に映える妻の健脚
日本列島のたうちまはる酷暑かな
また後で 結局せずに 死んでいく
父母と蕎麦啜りし吉祥寺
吾子眠る軒を燕の切り返し
初恋はさわらぬ種のハウセンカ
緑陰に靴脱ぐ鳶の白い足
海岸に波のしみ入る遅日かな
地と与す夏めく我よ早々と
風を得てよりサンダルの泳ぎ出す
吾子遊ぶ火垂る袋に先客か
初夏や 五輪に向けて テレビ買う
船が行く失われゆく花筏
梅雨寒や通学バスの窓に露
星合や乙女の日記鍵かける
宝くじ当たって嬉し春の夢
気象大変そろそろ季語の見直しか
風薫る美囊川越えて鍛冶のまち
木曾殿の頤触るる落花かな
桜桃忌水切りの数産む子ども
巡礼の参道燃ゆる新樹光
芽木の空 どこまで続く 生きる道

熊本県	貴田 雄介
静岡県	海瀬 安穩
神奈川県	佐野 良彦
大阪府	アダージョ
千葉県	小田中 準菜
兵庫県	バイク野郎
山梨県	村田 一広
兵庫県	白川 織部
宮城県	戸田 なお
徳島県	典典
鹿児島県	内山 田穂子
東京都	ふわりねこ
愛知県	福田 匠翔
高知県	越智 洸太郎
宮城県	渋谷 史恵
滋賀県	華杏
和歌山県	まこもじやる
愛知県	紅紫 あやめ
兵庫県	中川 晋太郎
東京都	須藤 茂夫
東京都	須藤 美知子
福岡県	赤松 桔梗
兵庫県	泉 永子
千葉県	白石 孝堂
岐阜県	みんな
兵庫県	長山 文子
兵庫県	民岡 佳子

酒蔵へ黄金こがねの猫が手招きす
ラムネ飲む地球の蒼を独り占め
諸人の命とならん白躑躅
のつたりと銃を持たない蟹が来る
Spのごとき祖父母や七五三
夏めくや 水張りし田に あぶく見ゆ
昇り龍 孫のみくじ 難中合格
夜汽車乗り桜追いかけて無人駅
山の辺の神事見おろす椿かな
炎天やつまみ食いする野良仕事
三樹彦や伊丹の里に積もる雪
研ぎたての刃よいざ西瓜真二つに
大道芸汗の滲んだピエロの目
三木薄暑 師の句をたどる街歩き
愛犬も 我もここに うつる美を
あれこれを 胸に刻んで 春日影
黄帽の児童を追い抜くつばくろ
祭の輪わっしよいわっしよいい人の輪に
一マイナスが出たのであれば春の風邪
三樹彦へ泣きたいからと流星雨
職を辞し犀の角のごとおりにけり
ジョウビタキ野良の傍にてボカロ曲
囀りに重なるように吾子の声
出合いにも別れも桜よく似合い
ああ甘し吾子が残した夏氷
故郷の 父の草笛 風に乗り
老農の耕してまた手を洗ふ

兵庫県 せいこ
三重県 小林 寛久
兵庫県 紫水
熊本県 夏風 かをる
広島県 カラスの行水
兵庫県 赤松雀
兵庫県 Big mama
愛知県 北野 剛
三重県 山島 美紀
兵庫県 箱庭
山口県 松岡 哲彦
東京都 遠藤 玲奈
埼玉県 小田 乃理子
兵庫県 福本 淳子
兵庫県 塚本 誠
静岡県 蛇のとぐろ
兵庫県 米村 環
滋賀県 小見 伸雄
山梨県 ルーキィ
静岡県 大澤 定男
東京都 鈍虞離
福島県 空広
千葉県 もふもふ
福島県 やんちゃん
兵庫県 走路人
岐阜県 田中 恭司
神奈川県下村 修

消印は若布のゆれる港町
 兵として産む母おらぬ草若葉
 合格や肩もて風を切る吾子は
 遠き打鼓乗り子稽古の夜長かな
 鉾物の指環ひからせ星祭
 氷点下 ポツケで繋ぐ カイロあり
 祖母のバラ 3回忌の朝 はじめて開く
 蝸に帰る母待つ家灯り
 採り遅れ 一氣に満開 水菜花
 旅終わりたどり着くころ五月晴れ
 在生まれ 在で暮らして 菜種まく
 香水の身をもてあます一人生
 寒稽古 炎の如し まご娘
 わきあがる 悔恨の雲 天高し
 三樹彦忌カメラの電池充電す
 齢となり まだ死は怖い ワシが居る
 春祭流し仁輪加を堪能す
 花恋句集 心の杜が ざわめいて
 17音 先人築いた 音の録
 湯タンポを入れて夜勤の孫を待つ
 誰ひとり通らぬ道となりにけり
 SHOW BY ROCKなUberEats 初荷市
 ねんねこの寝言に唄ふトツテンカン
 後ろから押してくるから散る桜
 春雷や レシート湿る 値上げ雨
 酒米の薫り漂ふ金物屋
 金物屋跳ねるひょうたん吊るし雛

愛知県 柘植 雅一
 兵庫県 成清 由美子
 愛知県 海神 瑠珂
 兵庫県 黒田 耕司
 神奈川県 しむえり
 北海道 北の大ちゃん
 愛知県 ゆん
 東京都 尊の君
 兵庫県 しんこファーム
 愛知県 春風
 神奈川県 やーくん
 千葉県 千葉 信子
 埼玉県 横手 敏夫
 福岡県 一步二歩
 香川県 岩本 稔
 埼玉県 泊雲
 愛知県 羽馬 愚朗
 大阪府 月のひかり
 愛知県 宮野 智羽
 奈良県 大和の雨蛙
 奈良県 浦城 亮祐
 兵庫県 噂野 アンドウ
 神奈川県 桜小町
 京都府 七色
 大阪府 だいちゃんZ!
 兵庫県 今北 眞奈美
 兵庫県 なぎさ

落とし物の手袋を洗う緑雨	埼玉県	天海楓
秋雨やうなじの光る阿蘇の馬	奈良県	堀 隼人
墓碑銘に老若の名や沙羅の花	茨城県	石井 彩音
菖蒲の湯すっぽんぽんを抱き上げる	茨城県	久信田 史夫
あゝ厭や 老いと梅雨とはホンに厭や	千葉県	堀 卓
閑適や子猫と座して居る日向	千葉県	安田 蝸牛
水玉がからんからんと鳴くこの世	栃木県	翡翠時雨
本読みに囲まれ春の私鉄線	東京都	居並小
助手席の下に残りし柚子ひとつ	愛知県	微笑亭 さん太
夏近し空港からの手紙来る	京都府	しん
吠え声に前ならえする秋茜	岡山県	岩中 幹夫
洗い髪心地良き風四月なり	福島県	川島 妙
切れの佳き刃涼しきおだいどこ	茨城県	岡崎 佐紅
霊峰を斎く雨音半夏生	東京都	羽住 博之
スコールや学びに勇むクメール人	千葉県	樋ノ口 一翁
恐竜や羽広げ舞ふ初鴉	東京都	小池 富美子
四十路にて 乙女椿の 名前知る	滋賀県	吉田 笑
可惜夜や銀漢誘う蛍舞い	熊本県	坂本 友傘
行合の空昏くして初時雨	栃木県	薫風
立秋やじつくりと見る美術館	神奈川県	タケザワ サトシ
水音の玲瓏として冬に入る	千葉県	松田 素風
参道を下闇とせる杉木立	東京都	破れ蓮
菜の花の今が見頃よ娘にメール	山口県	河本 ひろこ
白南風や左目の涙は乾く	富山県	折田 祐美子
平和乞ふ魂の依代紅椿	神奈川県	蒲公 英魂
雨粒に打たれて蟻のいそぎけり	東京都	野上 卓
花見酒 山田錦や 立役者	東京都	夏川 涼